

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	物質と生命を光でつなぐ分子技術の開発
研究代表者	内山 真伸 (東京大学・大学院薬学系研究科(薬学部)・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、吸光・発光能をもつ有機化合物を合成し、これを利活用することを目的としたものである。応募者は、有機合成化学者としてこれまで実績があり、今回の提案も興味深く高い評価に値する。化合物のレパートリーの拡大と広範な応用が期待される。医学・薬学への応用という観点からの具体性が見えにくいだが、非常に独創性のある研究であるとともに、当該研究分野をリードし、日本が世界に誇れる研究である。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>